白川郷荻町集落の自然環境を守る会　令和5年5月号

ねそ

守る会ホームページ　http://shirakawa-go.com/~ogimachi/

荻町発展会の取り組み「きれいな白川郷」を守ろう！

荻町発展会（会長：藤坂俊幸氏）は、荻町区内で主に観光に携わる事業所が本会の趣旨に賛同・協力される方々を会員として構成されています。そして会則には、「重要伝統的建造物群荻町とその周辺の美しい自然環境を守ることにより、健全で文化の香り高い地域を築き、更に文化財保存と自然環境保護の運動を推進し、もって荻町が永く栄え地域の発展に寄与することを目的とする」と定められています。新型コロナウイルス感染症が落ち着き始め、観光客が徐々に戻ってきたことに併せ、会員皆様に向けて「荻町集落のゴミ増加問題への対応について（お願い）」文書が次の通り通知されました。

令和５年２月１０日

会員各位

荻町発展会会長 藤坂 俊幸

荻町集落のゴミ増加問題への対応について（お願い）

日頃より発展会活動へのご理解とご協力ありがとうございます。
令和５年となり、コロナとの共存の中で観光客も増え活気が戻ってきましたが、一方で集落内に観光客によるゴミが多く見受けられるようになりました。
そこで発展会では役員会で協議をし、次の通り対応することといたしました。
会員皆様におかれましては「きれいな白川郷」を守るため、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

記

- 観光事業者は、ゴミのポイ捨てが増えないよう各自努力する。
- 店舗等周辺のゴミ拾いを積極的に行う。
- 観光客からゴミ処分の申し出があった際は、他店舗のゴミであっても“お互い様”の精神で快く引き取る。
- タバコのポイ捨てによる火災がないよう見かけたら注意する。

なお、今後ゴミのポイ捨を注意喚起する看板や、ゴミ袋等を配布したいと考えています。
また、せせらぎ公園駐車場やバスターミナル等公共施設へのゴミ箱の設置については、行政に相談をしながら引き続き検討します。

以上

今年のゴールデンウィークは国の規制緩和も相まって、集落内は大勢の観光客で賑わい、コロナ禍以前のような活気が戻ってきました。一方でゴミやタバコのポイ捨ても目に付くようになってきており、荻町発展会では展望台に禁煙の看板を設置。タバコの吸殻の削減に効果を期待します。また最近では、4月29日に村内一斉美化運動も実施されましたが、長年の課題である集落内のゴミ問題には継続的に向き合っていく必要があります。

住人皆様におかれましては、日頃から景観保全にご協力をいただいているところですが、荻町発展会の取り組みにご賛同の上、一人ひとりが心がけることによって「きれいな白川郷」を守っていきましょう。最後になりましたが、発展会の活動に心より感謝申し上げます。

◆現状変更申請書は各組の委員さんへ毎月月末までにお願いします

現状変更申請手続きの流れ（定例会の前月末までに次の手続きを行ってください）

１、組の委員さんから申請書類をもらう。
２、組の委員さんに申請内容を説明。必要であれば組寄合等でご相談ください。
３、組の委員さんは事務局へ提出。

◆トタン屋根の塗装をされるにあたって現状変更申請をお願いします

トタン屋根の塗装を行う場合、塗料代の補助を受けることができます。今までは「トタン屋根用塗料代補助申請書」を提出いただき、各組の委員さんが塗装の実施状況や施工面積の確認を行っていましたが、今後は同申請書を廃止し、現状変更申請書に塗装面積を明記して提出いただくことに改めました。また、施工完了後は、業者委託の場合は業者の請求書を、自身で施行した場合は購入したペンキの量がわかる領収書等を、守る会事務局まで提出してください。

守る会活動スローガン　～守る・暮らす・つなぐ～

①守　る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

4月の活動報告　※6月の定例会は9日（金）を予定（公民館和室にて）

6日　役員会
6日　現地確認（役員・教育委）
6日　荻町構想計画会議（役員・財団・教育委）
11日　定例会
12日　ねそ4月号発行（総務部）
13日　旧寺口家棟つつみ（会長・福田）
17日　荻町会計監査（事務局）
20日　荻町交通対策委員会（会長）

5月の協議事項（現状変更申請に関わって）　5月10日開催

＊＊＊＊･･･合掌店舗の改築
＊＊＊＊･･･コンクリート舗装
白川村観光振興課･･･村道荻町シユウ谷木柵撤去
＊＊＊＊･･･排水溝新設・管横断入替

◆ねそ編集後記

先日、野谷会長ご指導のもと、旧寺口家の棟つつみを実施しました。毎年一緒にやらせていただいているものの、年に一度の機会では、なかなか技術を習得することができずにいたのですが、昨年10月に開催された「技術の継承勉強会」に参加したおかげなのか、「わさん」と呼ばれる結び方を例年よりもスムーズにたくさんの数を行うことができました。人生、数少ないチャンスを大切にすると良いことがあるなと嬉しくなり、我が家の屋根から望む夕暮れの景色がいつもより美しく見えたような気がしました。［福田］